

■ 一般目標 (GIO)

歯周組織の病的状態について学び、歯周病の検査、歯周治療の流れおよび歯周基本治療の手技について理解する。

■ 到達目標 (SBOs)

- ① 歯肉病変を説明できる。
- ② 歯周炎を説明できる。
- ③ 咬合性外傷を説明できる。
- ④ 歯肉増殖を説明できる。
- ⑤ 壊死性歯周疾患、歯周膿瘍、歯内 - 歯周病変を説明できる。
- ⑥ 歯周病の原因を説明できる。
- ⑦ 歯周病の検査を説明できる。
- ⑧ 歯周治療の流れを説明できる。
- ⑨ 歯周基本治療の項目と治療内容を説明できる。

■ 教科書：歯科衛生学シリーズ  
歯周病学 (医歯薬出版)

■ 参考書：なし

■ 授業時間：火曜日 9:00～9:50, 10:00～10:50

■ オフィスアワー：酒井 嶺 (sakai.ryou@nihon-u.ac.jp)  
火曜 17:00～18:00

■ 授業の方法：スライドを使用し、適宜プリントを配布する。

■ 準備学習・ 事前に必ず教科書を読み、授業内容を理解しておくこと。  
準備学習時間：各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。

■ 成績評価方法：定期試験 (100%) を基本とする。

■ 注意事項：講義に必ず教科書を持参すること。

■ 実務経験：酒井 嶺：現在、日本大学歯学部歯科保存学第Ⅲ講座に在籍しており、歯周病治療を専門におこなっていることから、その経験を基に歯科医師の立場から本教科で学ぶ内容が臨床にいかに関用されているかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

■ 予定表

| 授業日・担当者                 | 講義項目   | 学修目的・到達目標  |
|-------------------------|--|--|
| 第1・2回<br>12月12日<br>酒井 嶺 | 1. 正常な歯周組織の構造と機能<br>(教) pp. 8-16<br>2. 歯周病の分類<br>1) 歯肉病変, その他<br>(教) pp. 17~21 | ・ 歯周組織の構造と機能を理解する。<br><br>・ 歯肉病変の病態を理解する。<br>・ 歯肉増殖の病態を理解する。 |

| 授業日・担当者                 | 講義項目   | 学修目的・到達目標  |
|-------------------------|--|--|
| 第3・4回<br>12月19日<br>酒井 嶺 | 2. 歯周病の分類<br>2) 歯周炎, その他<br>(教) pp. 22-27<br><br>3. 歯周病の原因<br>1) 細菌因子<br>2) 宿主因子<br>局所性修飾因子<br>(教) pp. 28-33 | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 歯周炎の病態を理解する。</li> <li>• 壊死性歯周病, 歯周膿瘍, 歯内一歯周病変, 歯肉退縮, 咬合性外傷の病態を理解する。</li> <li>• 歯周病の原因のうち, 細菌因子と局所性修飾因子を理解する。</li> </ul> |
| 第5・6回<br>1月9日<br>酒井 嶺   | 3. 歯周病の原因<br>3) 外傷性修飾因子<br>4) 全身性修飾因子<br>5) 環境因子<br>(教) pp. 33-36<br>4. 歯周治療の進め方<br>(教) pp. 44-54            | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 歯周病の原因のうち, 全身性修飾因子と外傷性修飾因子を理解する。</li> <li>• 歯周治療の進め方を理解する。</li> </ul>   |
| 第7・8回<br>1月16日<br>酒井 嶺  | 5. 歯周病の検査<br>1) 歯周組織検査<br>2) 原因因子の検査<br>3) 咬合の検査<br>(教) pp. 55-73  | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 歯周組織検査の項目を理解する。</li> <li>• 歯周病の原因因子の検査と咬合検査の項目を理解する。</li> </ul>   |
| 第9・10回<br>1月23日<br>酒井 嶺 | 6. 歯周基本治療<br>(教) pp. 74-86   | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 歯周基本治療の項目を理解する。</li> </ul>  |